

山田池公園の従業員、ボランティアが AED 講習を受けました！



7月1日(火)パークセンター会議室にて山田池公園従業員とボランティアが、枚方東消防署員の方を教官に招いて講習を行いました。命に関わる大切な事、皆真剣そのものでした。教官に実技、注意点を一通り教わりその後は様々な事例を想定した練習を行い、密度濃い3時間を過ごしました。イザという事がない事を祈りつつも、もしものときに対応できるよう、みなで真剣に取り組みました。

AEDとは？

AED(エー・イー・ディー)は Automated External Defibrillator の略語で、日本語では「自動体外式除細動器」といいます。

AEDの設置場所を示す目印には、「AED」と書かれていることが多く、「自動体外式除細動器」よりも「AED」と覚えたほうが簡単かもしれません。

何をするためのもの？

AEDは、「突然心臓が止まって倒れてしまった人(心室細動を起こしている場合)」の心臓のリズムを、**心臓に電気ショックを与えることにより再び正しいリズムに戻し、蘇生するための治療機器**です。

音声案内に従って、心肺蘇生術と併せて行います。



教官3名を招いての普通救命講習会を行いました



教官から講義を受けいよいよ実技に入りました

「大丈夫ですか？、聞こえますか？」



「呼吸をしているか聞いて、見て、感じて」

人工呼吸をします



胸骨圧迫を1分間に100回くらいのスピードでまっすぐ上から1,2,3、声を出して



AEDを使って



意識が回復しなければ更に続けて



最後は良く頑張りましたと言葉を頂き終了証書を頂きました。